

◆変更することへの見通しをもとう

1 対象児童生徒（対象学級）の実態 小学部1～3年の自閉症グループの児童 8名
2 指導目標 ・日頃と違う流れ（文化祭のステージ上に上がるまでの行き方の変更、校外歩行の行き先の変更など）のときに、変更される状態を知り、変更に対して柔軟に対応することができる。
3 取組の中心となる教科・領域等 自立活動、生活単元学習など
4 使用したアプリ、周辺機器 カメラ、写真
5 指導の経過及び児童生徒の変容 文化祭のステージまでの行き方を変更する際に、新しい行き方を動画で見せた。何かあった時に、その場で再度見せようと考えていたが、その必要はなく、1回目から全員が変更することを理解し、落ち着いて行動することができた。 【1回目】 初めて見せる映像ということもあり、全員が興味をもってステージ上までの行き方の映像を見ることができ、変更に対しても全員が落ち着いて対応することができた。 【2回目】 全員が、映像に対して見たことがあるものと再確認している様子で、全員が落ち着いて対応することができた。 【3回目】 1、2回目のように、じっくりと見入ることはなかったが、全員が落ち着いて行動に移すことができた。 【4回目】 もう既に理解している様子で、映像をじっくり見なくても大丈夫という雰囲気があった。 校外歩行で、行き先を変える（前回までは右に曲がっていたが、今回からは左に曲がる）ため、曲がり道の行き方の動画を見せた。全員が理解し、実際に曲がる時にも落ち着いて対応することができた。何かあったときに、その場で再度見せようと考えていたが、必要がなかった。
6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等） 変更の内容を伝える際に、動画の映像を見せることにより、変更の内容をよりわかりやすく理解することができるため、効果的である。今回は必要がなかったが、理解しにくい場合は、タブレット端末であればその場に持って行くことができ、より有効である。